

幌別小学校だより

登別市立幌別小学校

学校だより 第 9 号

幌別小学校教育目標

- すばんで学びよく考える子
- 互いに助けあい思いやる子
- 丈夫な体でたくましく生きぬく子

(昭和62年3月改訂)

令和7年11月25日

いじめの早期発見

～家庭でのサイン～

校長 松田周一

11月にいじめアンケートを実施しました。「あなたは、今年の4月から今日までいやな思いをしたことありますか?」という質問に対して、「いやな思いをした」と回答した児童は165人。その内訳は「冷やかし・からかい」がもっとも多く55人。次は「仲間外れ・無視」で27人となっています。ちょっとしたからかいも、相手がいやだなと思ったらいじめです。いわゆる「いじり」をして、相手が笑っていたとしても、家ではもやもやしたり、泣いていたりすることもあるのです。いじめは絶対に許されない行為なのです。

さて、学校は子どもたちが健やかに成長するための場所ですが、「いじめ」はいつの時代にも、そしてどの子にも起こりうる深刻な問題です。本校では、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努めておりますが、ご家庭での見守りも大変重要になります。いじめは、その性質上、学校や家庭で見えにくいことがあります。特に子どもの言動に変化が見られた場合は、「いつもと違う」というサインを見逃さないよう、注意深く観察していただきたいと思います。

いじめをされた側（被害）

- ・登校時間になると、身体の不調を訴え、登校をしぶるようになった。
- ・寝つきが悪い、食欲が急に落ちた、笑顔が減った。
- ・意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなった。
- ・ささいな事で怒ったり、家族にハツ当たりしたりするようになった。
- ・家族との会話が減ったり、意図的に学校や友達の話題を避けたりするようになった。
- ・家庭から品物やお金を持ち出したり、必要以上にこづかいを要求したりするようになった。

いじめをした側（加害）

- ・買ってないものを持っている。
- ・お金の使い方が荒くなっている。
(小遣い以上のお金を使っている)
- ・親の言うことをきかなくなり反抗的態度をとるようになった。
- ・親が部屋に入るのを極端に嫌がるようになった。
- ・秘密のやり取りが増える（ゲーム、SNSなど）
【福岡県教育委員 いじめ早期発見早期対応リーフレットからの抜粋】

もし、上記のような様子が見られた場合は、頭ごなしに叱るのではなく、まずお子様の気持ちに寄り添い、話を聞いてください。そして、少しでも気になることがございましたら、すぐに学校にご連絡ください。いじめは、された側はもちろん、した側の子どもも、心に傷を負い、その後の成長に大きな影響を与えます。

学校とご家庭が連携し、子どもたちが「安心」して過ごせる学校・家庭・地域を築いていきたいと願っております。ご心配な点やご相談があれば、いつでも担任や学校にご連絡ください。

※幌別小学校では、いじめ防止基本方針を策定し(幌別小学校HPで公開中)教頭及び生徒指導部長(柳瀬教諭)を中心にいじめの未然防止、早期発見、早期対応を進めております。何か心配なこと等ありましたら遠慮なくご相談ください。